

第2回 議会運営委員会記録

1 日 時 令和3年2月19日（金） 午後2時12分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席委員 7名

委 員 長	佐 藤 栄 一
副 委 員 長	高 田 保 則
委 員	渡 部 道 宏
〃	八 木 清 美

委 員	天 野 京 子
〃	阿 部 幸 夫
〃	小 嶋 正 彰

4 欠席委員 1名

委 員	霜 鳥 榮 之
-----	---------

5 欠 員 0名

6 職務出席者 2名

議 長	関 根 正 明
-----	---------

副 議 長	堀 川 義 徳
-------	---------

7 説 明 員 0名

8 事務局員 3名

局 長	築 田 和 志
庶 務 係 長	堀 川 誠

主 査	道 下 啓 子
-----	---------

9 件 名

- 1) 令和3年第2回妙高市議会定例会の運営について
- 2) 全員協議会報告事項
- 3) 協議事項
- 4) その他

○議会運営委員長（佐藤栄一） 開会前に一言申し上げますが、霜鳥委員さんからは入院加療が必要とのことで、診断に基づき、2月17日に入院されました。3月議会を含め欠席となりますのでよろしくお願いします。それとあわせて昨日、丸山議員さんからも入院して退院されたんですが、しばらく安静が必要ということでしばらくの間は欠席というふうな連絡が来ているのでご承知おきいただきたいと思います。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。関根議長。

○議長（関根正明） はい。本日、東京2020オリンピック聖火のオープニングセレモニーが妙高高原体育館で行われました。多くの市民の皆様から駆けつけていただきました。とはいえこのコロナ禍では開催も危ぶまれております。皆様の方で新型コロナウイルスに克服して開催にこぎ着けていただければ幸いです。それでは、主な議題として令和3年第2回妙高市議会定例会の運営についてよろしくお願いいたします。

1) 令和3年第2回妙高市議会定例会の運営について

○議会運営委員長（佐藤栄一） それでは 1) 令和3年第2回妙高市議会定例会の運営についてを議題とします。①会

期について、②会期日割について、一括説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。それでは、①会期について、②会期日割りにについてということで御説明させていただきます。お手元の資料に基づいて説明させていただきます。①会期につきましては、告示が2月21日の日曜日、招集が3月1日の月曜日となります。付議予定案件につきましては、令和3年度各会計予算が10件、令和3年度各会計補正予算は追加案件として1件、令和2年度各会計補正予算が4件、条例関係が9件、人事関係が2件となり、合計26件となっております。それでは、別添資料6ページから8ページの付議案件一覧表をごらんください。今回の定例会に上程される案件でございます。議案第2号から第11号までは、新年度の各会計予算関係10件でございます。次に、議案第12号から15号までは、令和2年度補正予算4件となります。それでは大変申し訳ございません、6ページ中段から説明させていただきます。議案第12号です。令和2年度一般会計補正予算（第14号）です。補正内容は2件でございます。1件は、新型コロナウイルス感染症緊急対策として、けいなん総合病院でのPCR検査機器導入に対する補助金。補助率は3分の2となっております。もう1件は、豪雪に対する緊急対策として、大雪で被災した農業用ハウスの再建等に係る補助金でございます。補助率は10分の5となっておりますが、国で10分の3、県が10分の1、妙高市が10分の1以内という補正となっております。PCR検査につきましては、3月中に運用開始を考えておりますし、農業用ハウスにつきましては、4月上旬の育苗時期までにハウスを再建する必要があることから初日即決を希望していますので、後ほど御検討いただきたいと思います。次に議案第13号です。令和2年度一般会計補正予算（第15号）です。議案第13号も大きく2件に分かれておりますが、補正総額は約9,500万円程度の増額となっております。主な内容ですが、まず1件目の新型コロナウイルス感染症緊急対策として3事業に分かれております。一つ目は、新しい生活様式に対応する市民窓口の見直しや保育園・こども園の保育参観のインターネット配信などの行政サービスを提供するとともに、感染拡大時においても、市役所業務の維持継続を図ることができる環境整備に係る費用の補正です。二つ目は、テレワーク等を通じて、新たな人の流れを創出し、市内経済の活性化や雇用創出を図るため、公募により民間事業者が整備するサテライトオフィス等の開設を支援し、市外からの企業進出を促進するための補助金の補正となっております。1と2につきましては、企画政策課となっております。三つ目につきましては、国の雇用調整助成金等の特例措置が延長されたことにより、雇用維持を図る事業主が社会保険労務士へ依頼する際の手数料に対する補助に不足が見込まれることから、必要な補助金を補正したいものであります。こちらは観光商工課が所管となっております。次に2件目です。その他ということで、その中では3事業に分かれております。一つ目は、介護予防・生活支援サービス事業の利用者数の増加により予算に不足が見込まれることから、不足相当分に対する介護保険特別会計への繰出金を補正したいもので、所管は福祉介護課となっております。もう一つは共同生活援助グループホームですが、自立訓練、生活訓練ですね、そちらの利用者数の増加により、予算に不足が見込まれることから必要な扶助費を補正したいものでございます。こちらも所管は福祉介護課となっております。細かく三つ目ですが、県営農業農村整備事業の事業費調整と国の補正予算による事業費の増額に伴い、市の負担金を補正したいもので、こちらの所管は農林課となっております。次に議案第14号でございます。令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）です。新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、収入が減少した方の国民健康保険税（令和元年度）の減免対応について、昨年の6月定例会において補正しましたが、実績見込みが補正予算計上時よりも少額となる見込みであることから、減額補正したいというものでございます。所管課は健康保険課です。次に議案第15号です。令和2年度介護保険特別会計補正予算（第4号）は、介護予防・日常生活支援総合事業について、訪問型サービス、通所型サービスの利用者が増加したことにより、負担金補助及び交付金に不足が生じることから必要な費用約150万円程度を補正したいものとなっております。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、収入が減少した方の介護保険料の減免対応につきまして、昨年の6月定例会におい

て補正しましたが、実績見込みが補正予算計上時よりも少額となる見込みであることから、約4,400万円程度の減額補正をしたいものということでございます。増減額合わせまして約4,290万円程度の減額補正ということになります。いずれも所管課は福祉介護課ということになっております。次に、7ページ上段から8ページ中段をごらんいただきたいと思います。新年度施行の条例関係は9件でございます。現年度施行分については今回ございません。まず、議案第16号、妙高市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例議定について、こちら建設課となりますが、道路法施行令の改正により県道の道路占用料が見直され増額となることから、市道もこれに準じた占用料としたいため条例を改正するものでございます。議案第17号です。生命地域妙高ゼロカーボン推進条例議定について、環境生活課となっております。こちらは、2050年における二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、市、それから市民、事業者等の責務やゼロカーボン推進計画及び施策の実施などについて必要な事項を条例で定めるものとなっております。次に議案第18号です。妙高市希少野生動植物保護条例議定について、こちらも環境生活課となっております。当市に生息、生育する希少な野生動植物を保護し次代に継承するため、保護が必要な種の指定や捕獲等の禁止などについて必要な事項を条例で定めるものでございます。次に、議案第19号です。妙高市斎場条例の一部を改正する条例議定について、こちらも同じく環境生活課となっております。市外利用者の範囲が明確でないことや上越市が火葬場の建設を発表したこと、その共用開始までの間、旧広域行政組合の構成団体の使用に関する経過措置を設け、市外居住者の使用料金について実費相当分に見直すため、条例改正するものでございます。次に議案第20号です。妙高市手話言語条例議定について、こちらは福祉介護課となっております。手話の普及及びろう者への理解の促進に関する基本理念を定め、市の責務や市民、事業者の役割を明らかにし、市が実施する施策の基本的事項を定めることにより全ての市民がともに生きる地域社会を実現するため、必要な事項を条例で定めたものでございます。次に議案第21号です。妙高市介護保険条例の一部を改正する条例議定について、こちらも福祉介護課となっております。令和3年度から令和5年度までの第8期妙高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に伴いまして、第1号被保険者の介護保険料の額等を改定するとともに、介護保険法施行令の改正や、地方税法の一部改正及び新型インフルエンザ等、対策特別措置法における新型コロナウイルス感染症の定義の改正に伴い、関係条項を改正するものです。次に、議案第22号です。妙高市国民健康保険条例の一部を改正する条例議定について、こちら健康保険課となっております。新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴いまして、国民健康保険の被保険者に係る傷病手当金の支給に当たり、新型コロナウイルス感染症の定義が改正されたことから、条例の一部を改正したいものでございます。次に、議案第23号タイトルは似ているんですけどもこちらは妙高市国民健康保険条例、税条例の一部を改正する条例議定についてです。こちらも健康保険課になります。平成30年度の税制改正における個人所得税の見直しに伴い、国民健康保険税の軽減判定所得基準の見直しと新型インフルエンザ等の対策特別措置法において新型コロナウイルス感染症の定義が改正されたことから、条例改正をしたいものということでございます。次に議案第24号でございます。妙高市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例議定について、こちら観光商工課となっております。地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の改正に伴い、同法及び関係省令を引用している箇所に条ずれが生じたことから、条例改正したいものということになっております。次に人事関係は選任同意が2件ございます。議案第25号ですが、妙高市公平委員会委員の選任同意について、こちら総務課になりますが、これまで上野隆さんの3月31日で任期満了となるものに伴うものでございます。次に議案第26号です。妙高市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について、こちらも総務課となります。尾島弘江さんの4月23日の任期満了に伴うものということになっております。次に、議案第27号ですが、こちらは追加予定をされている議案となっております。新型コロナウイルス感染症防止対策としまして、高齢者のワクチン接種にかかる費用を補正するもので、ワクチン接種のスケジュールや体制など、

2月末を目標として現在調整中ということでございます。大変申し訳ございません。レジメの1ページに戻っていただきたいと思います。以上説明させていただきましたように付議予定案件につきましては合計26件でございます。ちなみに昨年も26件だったんですが、会期としましては、本会議6日間、委員会が3日間、休会が16日間を含む、トータルで25日が必要で、3月1日から3月25日までを考えております。次に、この会期25日間を前提とした②の会期日割についてですが、9ページの日割表(案)をごらんいただきたいと思います。まず3月1日は10時開会、その前に全員協議会を開催させていただきます。全員協議会の案件が多いことから開始時間は9時15分からとさせていただきます。また、本会議終了後には執行部側の全員協議会が予定されております。本会議は、新年度予算関係、令和2年度の補正予算の提案があります。基本的には、それに対する総括質疑、委員会付託となりますが、質疑回数は3回、所管委員会の制限があります。ただし、一般会計の補正予算(議案第12号)の議決の手続につきましては、後ほどご協議をお願いすることになっておりますのでご承知おきください。3月3日、4日につきましては、一般質問となっております。なお通告人数によりまして4日は休会となる場合がございますのでご承知おきください。次に3月10日、11日は30分時間を早めて9時30分より新年度予算関係議案の提案があります。それに対する通告による総括質疑があります。質疑が終わった後に委員会に付託されるという流れになっております。次に、16日、17日、18日は10時より各委員会です。各委員会順は1月27日の議会運営委員会にて決定しておりますのでご承知おきください。そして最後25日ですが、本会議の最終日となり午前10時から本会議となります。各委員長報告、質疑の後、討論、採決となります。その後人事案件が上程され、提案説明、質疑、採決となります。公平委員会委員及び固定資産評価審査委員会委員の人事案件につきましては、議会運営マニュアルで、委員会付託は省略し、簡易表決と決められておりますのでよろしくお願いいたします。なお、その欄外に記載のとおり、一般質問の締切りは、初日の3日前、2月24日正午となっておりますし、総括質疑の締切りは一般質問の前日の3月2日午後3時となっておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○議会運営委員長(佐藤栄一) ちょっと休憩します。

休憩 午後2時30分

再開 午後2時30分

○議会運営委員長(佐藤栄一) 会議を続けます。ただいま①会期について説明がありましたが、2月21日告示、3月1日招集、付議予定案件は26件となります。この審議のため、合計25日間を要するというので、会期は3月1日から3月25日としたいものであります。この会期を前提とした日割りについては別紙のとおり説明がありました。

①会期と②会期日割りについて何かございますか。小嶋委員。

○小嶋委員(小嶋正彰) はい。議案第27号の追加提案があった場合というのがありますが、これは、10日のケース、11日のケース、それからその先のケースといろいろあるんですがこの辺の見通しはどうなんでしょうか。

○局長(築田和志) ただいま先ほども説明させていただきましたとおり、2月末をめどに、所管課で積み重ねていて、金額を今はじいてる最中ということで、見通しは、私らとすれば、10日、11日あたりで出てくるということで、準備を進めております。万が一、そこで出てこない場合は、またこの後説明もありますけども、最終日の提案ということになりますが、今のところは10日、11日に出てくるということで進めさせていただいております。

○小嶋委員(小嶋正彰) なかなか国の動きも見えなくてやむを得ない部分もあると思うんですけども、新年度の予算に関わることでありますし、やはり、原則のような形で、原則どおり委員会付託をして、きちんと対応するというのが議会の筋じゃないかなというふうに思います。ぜひそうなるように努力をお願いしたいというふうに思います。以上です。

○議会運営委員長(佐藤栄一) そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） お諮りします。①会議②日割りについては、ただいま説明のとおりとすることでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、会期と日割りについてはこのように決定しました。次に日割りのうち委員会審査の順番については、16日は総務文教委員会、17日は建設厚生委員会、18日は産業経済委員会ということでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、委員会日程についてはこのように決定されました。次に一般質問の通告締め切りが2月24日正午。予算総括質疑の通告締め切りが3月2日午後3時でご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、通告締め切りについてはこのように決定します。お諮りします。一般質問と予算総括質疑の割り振りについては、通告順となりますし、必要日数は過去の例を見ながら決めることとしますので、順番、日割りは議会運営委員会は開催せず、委員長にご一任していただくことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、一般質問、予算総括質疑の割り振りについてはこのように取り扱います。次に③議事日程について事務局の説明を願います。局長。

○局長（築田和志） はい。それでは③の議事日程について説明をさせていただきます。レジメ1ページの下段からでございますのでよろしくお願いいたします。それとあわせて、別紙の10、11ページ、議事日程第1号をごらんください。日程として書いてございませんが、まず最初に市長の招集挨拶がございます。議事日程の第1から第3につきましては記載のとおりでございます。第4は、令和2年度の補正予算で、新型コロナウイルス感染症緊急対策及び豪雪に対する緊急対策です。この後、審議方法を協議していただきますが、仮に委員会付託となった場合は、そこに書いてありますように点線の四角囲みのとおりとなり、即決の場合は、提案説明、質疑、この場合は回数とか、委員会制限はありません。採決というふうな流れになります。第5につきましては、議案第13号、令和2年度一般会計補正予算と、議案第14号、令和2年度国民健康保険特別会計補正予算並びに議案第15号、介護保険特別会計補正予算です。13号は分割して所管委員会へとなりますし、14号、15号は建設厚生委員会ということで付託される予定になっております。次、第6でございますが、第6では、市長の施政方針演説がございます。初日は以上で終了ということになります。また、11ページをごらんください。申し訳ございません。3月3日、日程第2号、4日、第3号は先ほど説明させていただきましたように本会議一般質問であります。なお、4日の日は、説明のとおり通告人数により休会となります。3月10日、日程第4号、本会議新年度関係の議案、予算審議であります。恐れ入ります12ページをあわせてごらんください。第2から第4は提案説明の後、質疑となります。質疑は所管の所属委員会の委員は質疑出来ません。また、質疑は議案ごとに3回以内の制限があります。付託先は、第2につきましては建設厚生委員会、第3につきましては産業経済委員会、第4につきましては新年度予算関係となっております。提案説明の後、通告による総括質疑が行われます。最後に委員会へ付託されます。11ページ引き続き、四角枠に記載のケース1とそれからケース2がありますが、そちらのほうをごらんください。追加予定の議案第27号につきましては、先ほど小嶋委員さんからお話がありましたが、そちらの件になります。本日現在で、執行部から、3月10日もしくは11日に追加の議案が想定されているということでございます。ケース1のように、10日か11日に追加され

た場合は、提出されたタイミングにより、このタイミングも時間によるんですけども、新年度関係議案の10日の前か11日の後、早ければ10日の前段で、あるいは、10日のお昼過ぎぐらいになってしまえば、11日の終わった後という形になりますが、そこで上程されて、委員会付託となります。11日までに議案が追加されなかった場合、その後となった場合は、ケース2の四角枠であります、そのように最終日に審議していただくということになります。この場合①の委員会付託をして即決になるのか、委員会付託なしで即決するかということを、また、後ほどご審議いただきたいと思います。恐れ入ります。3ページにお戻りいただきたいと思います。3月25日分でございますが、この間に委員会があるわけでございますが、この議事日程は本会議についてのみ定めるものでありますので委員会については記載してございません。一番最後の3月25日、議事日程第6、最終日、この日は午前10時からとなります。付託案件について、委員長の報告、質疑、討論、採決というふうな流れになります。人事案件につきましては、これも説明させていただきましたが、質疑、採決となりますし、討論はないということです。また、この後にご協議いただきますが、6月から7月の間に管内調査を実施する場合は、閉会中の所管事務調査、管内調査について議決をしていただくこととなります。中段にある四角枠、追加議案（議案第27号）ですが、これが最終日となった場合の付託か即決かの流れを①と②に記載しましたので、先ほどと同じようにまたご協議をいただきたいものでございます。なお、閉会后、その場において退職される課長の挨拶があり時間をいただくという予定になっておりますのでご承知おきいただきたいと思います。大変申し訳ございませんレジメの1ページにお戻りいただきたいと思います。1番下段の議事日程第1号、日程第4についてですが、議案第12号一般会計補正予算、第14号ですが、新型コロナウイルス感染症緊急対策と豪雪に対する緊急対策の補正予算についてです。執行部では感染症対策については3月中に運用をしたい考えであり、豪雪対策については4月の育苗時期までに再建したいということから、先ほど説明させていただきましたように、初日即決の議決を希望しております。この審議方法について協議をお願いします。ここに記載してありますように四角の囲みであるとおおり、議会運営マニュアルにおいては、定例会中における提出議案の議案審議は原則として、所管委員会に關係議案を審査委託するのが例であるとあります。2ページ上段をごらんください。審議方法案1は所管委員会で付託する方法です。なお、補正の内容から、建設厚生委員会及び産業経済委員会へ付託となろうかと思います。なおこの際、同時に開催することは出来ないとなっております。それぞれの流れについて説明させていただきます。参考までにご確認です。まず、審議方法1ですが、市長提案の後総括質疑がありまして委員会付託となります。委員会審査後、委員長報告を作成していただき、本会議を再開し、委員長報告、質疑、討論、採決となります。次の2）審議方法案2といたしましては、本会議場での即決の方法です。会議規則に基づく質疑回数3回は適用外、制限なしです。所管制限なしにより審議、質疑、討論、起立採決となります。後ほど、日程第4の審議方法についてご協議いただきます。初日の最後、日程第1号第6において市長が施政方針演説を行います。以上③の議事日程案をご説明させていただきました。

○議会運営委員長（佐藤栄一） ただいま議事日程案について説明がありましたが、まず日程第4、議案第12号の議案審議の方法について、皆様方のご意見をお聞きかせいただきたいと思います。執行部では、議案の中身の緊急性から、初日即決を希望されておりますが、審議方法の案は今二通りを局長のほうから説明がありました。皆様方からのご意見をいただきたいと思います。八木委員。

○八木委員（八木清美） 希望もされていることですが、市民の生活に直結していることもありますし、一刻も早く、育苗用の農業用ハウスですか、再建しなければいけないということもありますので、即決がよろしいかと思います。

○議会運営委員長（佐藤栄一） はい。即決という話ですが、即決でも正直言いまして、委員会に付託するかしらないかということがございます。その点につきまして、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。暫時休憩します。

休憩 午後2時43分

再開 午後2時48分

○議会運営委員長（佐藤栄一） では休憩を解いて会議を続けます。お諮りします。議案第12号の審議方法につきましては、委員会付託を省略して、初日採決することでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。その他の議事日程について何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ないようでしたらお諮りします。議事日程については、ただいま説明のとおりとすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、議事日程についてはこのように決定されました。次に、④追加議案の有無について説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。それでは恐れ入ります、レジメ2ページの下段をごらんください。追加案件、議案第27号は記載のとおりでございます。審議方法につきましては、先ほど説明したとおりとなっておりますので、よろしく願いいたします。

○議会運営委員長（佐藤栄一） はい。追加議案のは今のところ、10日もしくは11日に提出された場合は、委員会付託となりますが、それ以降に提出された場合は最終日の審議となります。その場合、委員会付託をするか即決とするか今のうちに決めておきたいと思います。審議方法についてご意見をいただきたいと思いますが、暫時休憩します。

休憩 午後2時50分

再開 午後2時51分

○議会運営委員長（佐藤栄一） 会議を続けます。お諮りします。追加議案が最終日となった場合の審議方法については、委員会付託をしないで最終日に、採決することでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と叫ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ご異議なしと認め、追加議案の審議方法についてはそのように決定されました。それでは次に、⑤請願、陳情、及び⑥要請の受付状況について、一括説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。本日現在の状況ですが、請願、陳情、要請はございません。以上です。

○議会運営委員長（佐藤栄一） 請願、陳情、要請については、説明のとおりです。なお、本日以降、招集日3日前までに提出がある場合には、改めて議運は開催せず、その取扱いが議長に一任いただくことでお願いします。

2) 全員協議会報告事項

○議会運営委員長（佐藤栄一） 次に、2) 全員協議会報告事項について、一括説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。それではレジメの3ページ下段をごらんいただきたいと思います。まず議会側の全協となります。①議会側全協3月1日、朝9時15分から委員会室にてということになります。内容につきましては、7件ございます。1件目は、議会運営委員会の3月定例会運営の結果報告について、次は、一般質問日程の割り振りについて、次は、タブレット端末導入に関する検討結果（中間報告）について、それから、広報広聴委員会協議結果報告について、次に、令和3年度予算、議会費の概要について、それから、妙高市議会議員倶楽部の令和2年度収支報告について、最後に、政務活動費の収支報告及び交付申請について、ということでございます。②ですが、執行部側の全協でございます。これも初日3月1日ですが、本会議終了後、本会議場においてということになります。

こちらにつきましても、件数があります。1点目はテレワーク研修交流施設の建設工事設計について、企画政策課です。これは令和2年度に実施する、テレワーク研修交流施設の建設工事の設計について概要を報告するものです。次に、令和3年度税制改正に伴う市税条例及び都市計画税条例の改正概要と対応についてということで、市民税務課より説明があります。これは令和3年度の税制改正に伴う、市税条例及び都市計画税条例の改正概要と対応について報告するものでございます。次に、市街地循環バス実証運行の結果について、こちら環境生活課になります。内容は、令和2年9月1日から11月30日までに実施しました市街地循環バス実証運行の結果と、今後の方向性について報告するものということになっております。次は、妙高高原ビジターセンターのオープンに向けたスケジュール等について、こちらも環境生活課です。令和3年10月に一部供用開始、令和4年4月にグランドオープンを予定しています。妙高高原ビジターセンターの今後のスケジュール等について報告するものでございます。次に、妙高支所・妙高保健センター大規模改修事業について、こちらは妙高支所から説明がございまして。令和3年度から4年度にかけて改修を予定している妙高支所・妙高保健センター大規模改修事業の概要について報告するものでございます。次に、ガス事業譲渡及び上下水道事業包括的民間委託の最優秀提案者の選定について、こちらはガス上下水道局から説明がございまして。内容は、公募型プロポーザル方式で募集した事業提案を受け、事業者選定委員会で最優秀提案者を選定したこと、その結果と今後の予定について報告するものとなっております。次に、こちらガス上下水道局になりますが、水道料金及び簡易水道料金の改定時期の延期についてということです。内容は、令和2年5月の料金改定を10月まで延期した影響分について、再値上げを検討しておりましたが、当面の間改定を延期するということを報告するものでございます。以上、執行部側としましては7件を予定しております。次に、③その他執行部側についてでございますが、本日現在、最終日における執行部側の全員協議会は予定されておられません。以上です。

○議会運営委員長（佐藤栄一） 2)の全員協議会について、説明がありましたが、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ないようでしたら、このようにお願いします。

3) 協議事項

○議会運営委員長（佐藤栄一） 次、3)協議事項について、①タブレット端末導入に関する検討結果（中間報告）について、プロジェクトリーダーの岩崎委員より説明を願います。

○岩崎委員（岩崎芳昭） 御苦労さまです。この検討につきましては昨年の12月から、また本格的に今年の1月から、私、それから村越、宮崎、また必要に応じて、佐藤委員長からも入っていただいた中で検討を進めてまいりました。まずタブレット端末の導入目的ですが、導入の目的、また必要性、目指す姿、ということで、行政情報を初めとする各種情報を迅速に正確に取得し、またタブレット端末の特徴を最大限に生かし、正確なデータ等に基づく政策議論のさらなる推進を図る。また、市の意思決定を担う議会としての役割を果たすとともに、市民に対する説明や、情報の共有に積極的に活用し、市民と議会のつながりを強め、市民に信頼される議会を目指すことを念頭に検討し、次の目的としまして5項目に整理をさせていただきました。①情報共有並びに情報伝達の迅速化による効果的、効率的な議会運営、②客観的資料による具体的な政策議論など、資料の全議員での共有による議会議論の深化、③資料情報の携帯化による議員活動の充実、活性化と市民への迅速、的確な情報開示と見える化による開かれた議会の充実、④ペーパーレス化による環境負荷の低減と、紙資料の印刷、整理、保存に係るコストや配布等の労務の削減、⑤災害時の情報収集や提供、安否確認など、危機管理体制の強化、以上の5項目にまとめさせていただきました。タブレット端末を導入して、ペーパーレスを図ることが必要であるとしたものであります。次に、導入の台数であ

りますが、議員分18台プラス事務局予備ということで4台を想定し、合計22台ということで考えております。それから次に、導入の方法③ですが、故障やアフターサービスまた代替機対応、機種更新などで優位と考えられることからリース制っていうことで、5年のリース契約が望ましいというふうな考えであります。それから④の機種選定ですが、先行する他議会での納入実績等を参考にしまして、アップルのiPadが望ましいと考えております。サイズについては本会議や委員会において議案等の資料を閲覧することを重要視して、画面サイズが大きくて、資料比較の、例えば2画面表示とかメモをとれることなどから、A4サイズ、いわゆる12.9インチが望ましいとしました。また、通信方式はタブレット端末の使用、Wi-Fiモデル、それからもう一つは、Wi-Fiプラスセルラーモデルの選択があるわけですが、政務活動等で、庁舎外での利用も想定されますので、モバイルデータ回線の使用が不可欠であるということを想定しまして、Wi-Fiプラスセルラーモデルが望ましいとまとめたところであります。それから次に⑤番目の通信費等の費用負担ですが、議会活動と議員活動双方での利用を想定しております。議員によるタブレット端末通信費の一部負担というものは必要と考えております。使用基準は、これからの検討項目であります。隣の上越市議会を参考に、2分の1は政務活動費、それから2分の1は私の費用、私費っていうことで、政務活動費を充当することを可とすべきというふうに考えております。それから⑥番目のソフトとの関係ですが、先行している議会で圧倒的に導入されています、東京インタープレイのSideBooksクラウド本棚、これが望ましいと考えております。クラウド本棚とはインターネットで接続して利用するサービスで、そのバックアップデータを保存する場所、いわゆる本棚っていう感じですかね。そのことをクラウド本棚っていう形、意味しております。それから次に⑦番目の付属品ですが、タブレットのカバー、それからキーボード、タッチペン、これについてはですね、タブレットを立てかけるためのスタンド機能がついたカバー、それからもう一つは入力用のキーボード、それからメモをする際のタッチペンと、これについては、取りまとめや斡旋はするけれども、必要に応じてということで、個人購入が望ましいっていうふうな形で考えております。それから次に、⑧番目の使用基準になりますが、これにつきましては、他自治体を参考にしながら妙高市情報通信機器の使用基準、これをこれから作成、検討する予定であります。それから次に⑨のタブレット端末の導入のスケジュールですが、令和4年度の導入を目指すということで検討を進めております。令和3年度の予算で要求しまして4年度、早々に入札等行い、10月から運用開始、研修会の実施、それである程度の準備期間を置きまして、12月からタブレットによる端末と、それから紙ベースの併用で、議会を始めると、そんなスケジュールであります。それから、⑩番ペーパーレス化のスケジュールであります。いわゆる今申しましたように12月の定例会からタブレットと紙を併用し、新年度、年度が改まったらタブレット端末によるペーパーレスの議会審議を行うという形でスケジュールを考えております。つまり、令和5年の6月の定例会からは、ペーパーレス化っていう形で目標にしたいと思っております。それから⑪番、研修操作であります。操作マニュアルを作成いたしまして、タブレット端末導入に合わせ、令和4年の10月、それから12月定例会の始まる前の11月にですね、操作研修を行い、その後も必要に応じて、いわゆる操作研修を行うというような形で進めていく計画であります。それから、⑫番Wi-Fiの設置であります。議場、それから委員会などこの5階のフロア全体で使えるようにするというところでありますし、今後の検討としまして⑬番ではまだ検討、着手してないものが3項目あります。目的及びICT化の項目の選定と実施に向けたスケジュール、それから使用基準などの運用規則の検討、それからペーパーレス化、どこまでをペーパーレス化にするか、これは導入している自治体においても様々な対応があります。そこら辺も、これから範囲をどこまでにするかっていうのを決める。そんな形でこれから進めていきたいと思っています。概要については、今中間という形の中で、以上の内容が中間報告ってことで報告されております。

○議会運営委員長（佐藤栄一） ただいまのタブレット端末の導入についての中間報告の説明がありましたが、この件

について何か、御質問等ございますか。

○渡部委員（渡部道宏） 通信費等の費用負担なんですけど政務活動費と私費半々ということは、私で半分使っていて感じてはなっちゃうんですけどそういう使い方でもいいということですかね。例えば、議会関係のものが入ってるのにまた自分で取った私用の写真なんかもその中に、半分の容量までは使ってもいいっていう、そういうことで私半分とかなんでしょうか。

○岩崎委員長（岩崎芳昭） はい。いわゆる通信費、上越の例を見ますとその使用できる一定の容量等を決めるんですけども、その中で、かかったものについては、折半するという形で、今までの例見ますと、3,000円か4,000円くらいかかる中の半分は政務活動費、半分は私費っていう形で、そこまでは使っても。ただ、これ全体的な中で管理しますと個々で管理しますので、そこで今度はどこまで使えるかの容量をまた決める必要あるのかな。それはこれからの検討課題です。

○議会運営委員長（佐藤栄一） はい。ほかにございませんか。まだ中間報告ですので、もう少しまた中身について細かく検討されたのが出てきたら、お願いをしたいと思います。それではこの件はこれでよろしいでしょうか。次に、②各常任委員会における管内調査について説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。それでは、資料の5ページ、いま（3）の協議事項ということですので②番をごらんください。記載のとおりですが、議会運営マニュアルでは、管内調査は6月議会閉会後から9月議会開会までの実施となっております。そこに記載してあります通り、実施案1、それから実施案2に記載させていただきました。いわゆる構成変え前か、構成変え後に調整するかということでございますので、ここで御協議いただきたいと思います。お願いします。

○議会運営委員長（佐藤栄一） それではただいまの管内調査について、御意見をお伺いしたいと思います。暫時休憩します。

休憩 午後3時08分

再開 午後3時14分

○議会運営委員長（佐藤栄一） 休憩を解いて会議を続けます。それでは、管内調査につきましては、6月下旬から7月までに、現委員で計画、実施をするということでよろしいでしょうか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） そのように進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

4) その他

○議会運営委員長（佐藤栄一） 4) その他について、広報広聴委員会協議結果報告につきまして、議題といたします。堀川委員長。

○広報広聴委員長（堀川義徳） はい。それでは私のほうから先日15日に行われました広報広聴委員会の結果について報告させていただきます。お手元に資料があると思うんですが、各4地域から書面によって、いろんな御意見をいただきました。その取扱いについては3常任委員会のほうに一応項目ごとに分類させていただきました。全議員の皆さんからもう意見を聴取しているということもありますので、3月定例会中に各常任委員会に今項目分けしてもらったこの件について、少し協議をしていただきたいと思います。非常に内容が多岐にわたって、本来であれば現地で回答したりすることも出来た案件もあると思うんですが、あくまで書面ということで、多岐にわたることでもありますので、常任委員会のほうでまとめる際に協議についての温度差があってはいけないと思っておりますので、この後で常任委員長さんに集まっていいただいて、今後の進め方について少し協議させていただきたい

と思います。広報広聴委員会の中ではあくまで陳情みたいな形で我々が議会側として回答を出すだけじゃなくて、やっぱりそれについてもっと深掘りしていく必要があるんじゃないかというような意見が出て、この常任委員会に振り分けたっていうのは、例えば先ほどの所管事務調査ですとか、本当にこう現地行かなきゃいけないようなものは、管内視察等でさらに深掘りして調査、研究を進めていただくという意味においても常任委員会のほうに課題を振って検討していただくというふうな方向になりましたので、これが終わった後で日程調整をさせていただきたいと思っております。それをもとに3月1日の全員協議会のほうでこういった形で、この意見について取りまとめを進めていきたいというふうな報告をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議会運営委員長（佐藤栄一） ただいまの委員長報告について何かございますか。小嶋委員長。

○小嶋委員長（小嶋正彰） コロナの中でこういう方法で何とかしたいという気持ちは非常にわかりますし、御努力には敬意を表したいと思います。ただ、今後の進め方について、3月定例会の委員会で各常任委員会で協議して書面で報告ということになりますけれども、二つあると思うんです。もう既に各議員から立派な御意見いただいている部分を一つ一つこれはどうなんだろうかということをやっていかねばいけない。本来であればやらなきゃいけないと思うんですが、なかなかこの真意がどこにあるのか。地域から出てきたテーマっていいですか課題についても真意がどこにあるのか。医療体制について不安があるみたいな話、これは一体、どこのことを言っているのか。個別の医院が閉めているところもいっぱい出てきた、行くところがない、かかりつけ医がないというのか。あるいは大規模病院では診療科目が少なくなっている、お医者さんもなかなか週に1回、2回と少ないなというのか。あるいは病院へ通うための交通が不便だと、そこに不安があるというのか。いろんなとりようがあると思うんですよね。議員の皆さんから出てきた意見を見ても同じ項目について聞いているけれども、ばらばらといいますか、そんななってますよね。そういった中で3月の定例会、建設厚生、十いくつ案件、補正、条例含めてですね12ぐらいあるんですよね。そういったことを含めると、毎回、5時過ぎまでやっている。さらにこれをやるのかなと思うと、ちょっと委員会運営をどうしたらいいのか途方に暮れるところもあるんですが。私は常任委員会で所管事項をきちっと審査するというのは、そのプロセスは、やらなきゃいけないと思うんですけれども、各議員から出た意見について、もう少し集約をして、方向性のある程度出していただいて、その出した方向について各委員会でどうだろうかと。異議なしということになるのかわかりませんが、こういうことを追加しろということになるのかわかりませんが、ある程度の方向性を広報広聴のほうで各議員に聞いたわけですから、まとめていただいて、それを各委員会でも審査してほしいというふうな流れにさせていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

○広報広聴委員長（堀川義徳） はい。委員会の中でいろんな意見があったんですが、先ほどちょっと話したんですが、もう全部が全部、回答出来ないだろうということなんですよ。本当に少子化ですとか高齢化なんてのは全国どの自治体も問題にしていることで、恐らく、簡単にこれをやりますみたいな形で答えてないんじゃないかということで、先ほど、3常任委員長さんの方々に共通の認識を持ってもらうために少し調整しますっていうところは、本来であれば、今までの例でいくと、地元でもう既に回答済みだっていうのと、それから、執行部に直接伝えるっていうのと、あといわゆる委員会にお任せするっていうような三つの形にいろんな御意見を分類して、それでまとめたという経緯があるんですが。今回は、書面ということもありますので、全議員さんに一応聞いて、その意見も含めた形で常任委員会のほうで何とか協議してまとめてもらいたいということなんですが、それとプラスして、今ちょっと執行部のほうにお願いしてるのが当然人口減少対策ですとか、いろんな高齢化ってのは今日も予算ありましたが、第三次妙高市の総合計画の中で柱があるわけですよ。ですんで、こういう意見に対しては、市では今こういう取組をしてますというのも含めて今それちょっと整理してもらってるんですが、そういうのも含めて回答をできればいいかと、市ではこういう考えで人口減少対策を今後進めていきますというような形の中で、地域に少

しでも返せるものがあれば。ただ非常に簡単に返せないものはさっき小嶋議員さん言われたとおり本当に現地見て調査して、さらに深掘りしていかないとなかなか答えが出せないっていうのもあるということで、その辺の共通の認識を各委員長さんに持ってもらいたいというところで、実際に、常任委員会やる前に少し委員長さんと私のほうでその考え方について調整して、それから3月でやっていただきたいということなので。もう何が何でも常任委員会で全部パーフェクトの答えを出してもらおうというような考えではないので、こういった地域から上がってきた声があるんだと、常任委員会の中で常にそういったことを心がけて調査なり研究なり、その委員会の中でできることは今後も引き続きやっていってもらいたいし、いかなきゃいけないというような意見がありました。以上です。

○小嶋委員（小嶋正彰） はい。今、委員長さんからありましたけれども、一つは地域に回答を出すのであれば、その案も、こういう形でどうだっていう案も含めて、委員会に諮っていただきたいなというふうに思います。それからもう一つはこの意見交換会、報告会の意義といいますか、やっぱり聞くだけじゃなくて、意見交換するところに意義があるんじゃないかなというふうに思います。議会基本条例を制定するときの特別委員会のやりとりを見ましても、やっぱり開かれた議会、透明性を確保する。そのためには地域に出かけて行って議員自ら説明する。やりとりをしながら説明していく。ここに意義があるというふうに何回も出てきます。今回のやつは何か皆さん問題ありませんかということでね、言ってみれば要望をお聞きするみたいな、そういう形になっているわけです。これはコロナの状況の中でいたしかたない部分というのは確かにありますけれども、その回答の仕方として、これについては当局に伝えておきますとか、それでは答えにならないんじゃないのかなと。そこはやっぱり議会の存在意義といいますか、議会を通すことによって市政にどういうふうに反映されているかというところが一番の課題です。議会に行ったらけれども当局に伝えておきますで終わったんでは、議会って何のためにあるのという話に、逆に不信感になってしまう部分ありますので。そこら辺も踏まえて回答の仕方については、誠意ある回答をしなきゃいけないというふうに思っておりますので、ぜひこういった各議員のことを踏まえて、回答案をつくっていただいて、それを委員会で審査するという方法にしていっていただけないかなと思います。

○広報広聴委員長（堀川義徳） 実際に今回の本当に令和2年度の意見交換をどうするかということで、単純に中止にしちゃうかというような意見もあったんですが、そうは言っても春から準備をして各地域に出向いて、テーマまで町内会長さんに絞っていただいたという経緯もあるので何とかしたいというような形で今回書面という形で異例の形になったんですが。やっぱり本来ですと、意見交換なのでその場でいろんな意見を言って、今ですとどちらかというとと要望に対してその回答みたいな形になってしまうっていうことで、非常に本来の姿とちょっとかけ離れてしまっているんですが、やはり皆さんからいただいた貴重な意見なので、少しでも今回いただいた意見をもとに、我々議会も今地域ではそういうことが問題になっているのかということを再認識する上でも、今回このような形にさせてもらったという経緯がありますので。また先ほど、各常任委員長さんの皆さんに、その共通認識という部分で、まとめ方も含めて協議してまいりたいと思いますので、お願いしたいと思います。

○小嶋委員（小嶋正彰） 最後になりますけれども、新聞の報道によりますと、広報広聴委員会の中では、しっかり受け止め返すことが大事だと、こういう意見が出たそうです。このとおりだと思います。ですから、しっかり返すためには、私ども慎重にかつ時間がかかっても、きっちりやらなきゃいけないという認識でおりますのでよろしくお願いします。以上です。

○八木委員（八木清美） はい。総務文教委員会については非常に多岐にわたって、御意見の内容も多いわけですね。それで、この後、委員長同士でって今おっしゃったんですけど、ちょうどこの後すぐ委員会で協議する内容がありますので、出来ましたらそのときに、ほかの委員の方々の協議について、どういうふうに今後、また、皆さんと協議していく方法についてですが、委員会の後ってのはとても考えにくいので、そういう点時間のとり方をどう

するかとか、それはちょっと委員会でもたこの後ありますので、ちょっとその時間を先にいただきたいと思っていますが。

○広報広聴委員長（堀川義徳） 今日この後、3 常任委員長さんに集まってもらってというその目的は、そこでどういうふうなまとめ方をしますよっていうのじゃなくて、どういうふうなまとめ方をしましょうという、多少お時間かかると思うんですね。ですので、その日程を決めさせてくださいということで、例えば3 常任委員長さんと私と村越副委員長と集まってこんな形でまとめてくださいね、お願いしますってというような調整を例えば、3 月 1 日にしましょうとか、そういった日程調整をさせてくださいということなんですが。

○八木委員（八木清美） わかりました。はい。

○阿部委員 はい。私も、資料をもらった段階で、やっぱり言葉では、自分なりに、そういうことかなと思いつつ、結果的に日本語ってというのは、本当に何を言おうとしているのかなというのがやっぱりやりとりしないと回答は幾つも出てくる可能性があるし、また求められている可能性がありますから、余りですね、軽率にそれをただやればいんだってというふうになっちゃうと、ちょっと私らの趣旨が違ってると言われたら、この回答では趣旨が違ってると言われたら、何の議論したんだと。お互い不幸な結果になってしまうというような感じを非常にこれ見たときに思いました。やっぱり小嶋委員も言われていましたけれど、これをやる目的は何かというと、やっぱり地元に行って、地元の状況を聞きながら、その実態をきちっと把握して、そして委員会で議論してくということで、委員会としての回答となるわけですから。ちょっとこのやり方では本当にそういうことになるのかなあってという疑問を委員長として非常にやりにくいっていうか、皆さん、本当にその意味をまとめられるのかなあと。また、相手に返してあげられるのかなというのは非常に私はこの後日程いろんな調整したとしても、その前に大事なことは、聞いたということに対してどのように答えてくる。これは私は聞いてないわけですから、そこら辺は非常に私は疑問を呈するなど、いうふうな感じを持っています。そこら辺、広報広聴委員長のほうから、もう少し聞かないとまずいなあという感じがすごくしています。

○議会運営委員長（佐藤栄一） 暫時休憩します。

休憩 午後 3 時 3 0 分

再開 午後 3 時 4 6 分

○議会運営委員長（佐藤栄一） 広報広聴につきましては、今後、広報広聴委員会のほうでもう一度精査した上で進めていきたいということでよろしいでしょうか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） その他の 2 番目、執行部との懇親会についてですがこの件について、関根議長。

○議長（関根正明） 退職課長との送別会を兼ねていますので、できれば開催したいところではありますが、現在の状況が続けば難しいと思っております。緊急事態宣言や新潟県の動向等を見ながら判断していきたいと思っております。幹事等にも相談させていただき、この件につきましては、御一任いただくことでよろしいでしょうか。

○議会運営委員長（佐藤栄一） よろしいでしょうか。御意見ございますか何か。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） 幹事は議長と相談して検討していただきたいと思います。もう 1 点、ほかに議長のほうで。

○議長（関根正明） はい。先日、女性議員の 4 名の皆さんから要望等がありましたので御報告いたします。まず 1 点目として、控室のお茶、コーヒーについてですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、茶わんやカップの使用をやめて、コーヒーについては、使い捨ての紙コップにしてはどうかという内容と、お茶については、お湯を

沸かさずマイボトル等にしていいただいたらどうかという提案がありました。紙コップは、議員倶楽部費から支出したいと考えております。耐熱式紙コップ、20個で100円程度ですが、どのようにしたらいいかお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） よろしいですか。

〔何事かいう者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ではこの件につきまして、コーヒーについては紙コップを用意して、飲み物については各自おのおのが持参するという形で、対応することよろしいでしょうか。

〔「よし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） 議会運営マニュアルでは、委員会室並びに議場においても、持込みは可となっていますが、テーブルの上に置かないでくれという規定になっています。

〔何事かいう者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） 暫時休憩します。

休憩 午後3時50分

再開 午後3時52分

○議会運営委員長（佐藤栄一） この件につきましては議運のメンバーだけがわかっているけれども3月初日わからないので、全議員について事務局のほうから周知していただくようお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。はい、局長。

○局長（築田和志） 3月1日の全協で御報告させていただきたいと思います。お願いします。

○議会運営委員長（佐藤栄一） あわせてその前に事前に各議員に連絡をしておいていただきたいと。

○局長（築田和志） メール等でよろしいでしょうか。

○議会運営委員長（佐藤栄一） いいです。

○局長（築田和志） はい、かしこまりました。そのようにします。

○議会運営委員長（佐藤栄一） よろしく願います。その他ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議会運営委員長（佐藤栄一） ないようでしたら、以上をもちまして議会運営委員会を閉会いたします。御苦労様でした。

閉会 午後3時53分

議会運営委員会委員長	
------------	--